

地域ぐるみで子どもたちと顔の見える関係づくりを

地域と学校が連携して取り組む事例をご紹介します。交流を通じて、子どもたちの健やかな成長を支えています。

体験学習を通じて

岩切小学校では、農家の協力を得て、特産の「曲がりねぎ」を栽培・収穫する体験学習を行っています。体験を通じて、子どもたちは学習の理解を深めるとともに、収穫の喜びを感じ、豊かな心が育まれます。



地域の伝承活動を通じて

保存会の方々の指導の下、福岡小学校では「鹿踊・剣舞」の伝承活動に取り組んでいます。子どもたちは、学校や家庭だけでなく、多くの方に見守られていることを感じながら成長し、自信をつけていきます。



通学路の見守りを通じて

「防犯子ども守ろうデー」と称し、西多賀中学校区では、PTAや町内会、民生委員児童委員の方々が、通学路でいさつ運動などを行っています。いさつでコミュニケーションを取りながら、地域ぐるみで子どもたちの安全を見守っています。



いじめ等に関する相談窓口

学校以外にも、いじめ等に関する相談窓口があります。

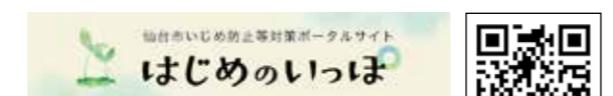
下記以外の相談窓口については、仙台市ホームページをご覧ください。

教育委員会 の窓口	仙台市教育相談室	022-214-0002	平日 9時～17時
	24時間いじめ相談専用電話	0120-81-2455	24時間 365日
	いじめ相談受付メール	soudan@city.sendai.jp	

子供未来局 の窓口	仙台市いじめ等相談支援室 S-KET(エスケット)	0120-303-836 s-ket@city.sendai.jp	月・水・木・土 10時～17時 火・金 12時～19時 ※祝休日、年末年始を除く
--------------	------------------------------	--------------------------------------	--

いじめに関するホームページが新しくなりました。

<https://sendai-ijimetaisaku.jp/>



社会全体で子どもたちを いじめから守りましょう



● いじめは子どもの権利を侵害し、心身に重大な危険を生じさせる
おそれがある **決して許されない行為** です。

● 子どもたちがいじめに悩み、苦しむことなく、健やかに成長することができるよう、社会全体でいじめの防止等に取り組みましょう。

どの子どもにも起こりうるいじめ

「仲間はずれ、無視、陰口」について…

された経験がある… **9割**



した経験がある… **9割**

国立教育政策研究所 いじめ追跡調査2016-2018
(2018年度の中学校3年生の6年間の経験回数より)

小中学生の多くがいじめを経験しています。

どんなことがいじめになるのでしょうか？

「いやだ」「苦痛だ」と感じるものはいじめです

「あだ名で呼んでいるだけ」「ふざけているだけ」……行う側が、からかいやいじり、遊びのつもりであっても、受けた側が心身の苦痛を感じていれば、それはいじめです。

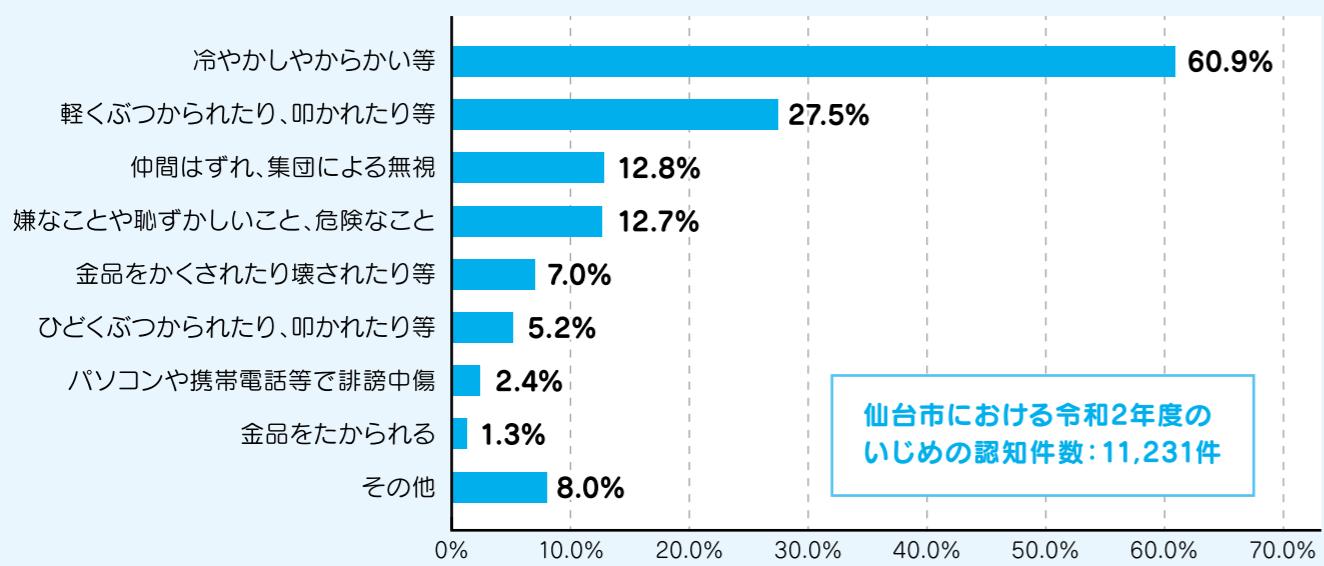


どんないじめが多いのでしょうか？

冷やかしやからかい等が最も多くなっています

「冷やかしやからかい等」に次いで「軽くぶつかられたり、叩かれたり等」となっています。これらは、「相手が嫌な思いをしている」と気付かずに行われることもあります。

仙台市におけるいじめの態様（複数回答可）



※令和2年度文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」結果より

子どもたちをいじめから守るために、大人ができるることは？

いじめを防ぐためには、私たち大人が、子どもたちの思いやりの心を育み、温かく見守ることが大切です。

思いやりの心を育む

登下校時や地域活動などでの大人からの声がけやねぎらいの言葉で、子どもたちは「自分を気にかけてくれている」と感じることができます。そうした積み重ねが子どもたちの自信となり、「自分とまわりの人を大切にする心」を育み、いじめの防止につながります。



いじめを見逃がさない

地域で気になる様子の子どもを見かけたら、学区の学校にお知らせください。



情報提供のポイント

- ・どこで
- ・どんな子どもが
- ・どんな様子だったか

たとえば…

「〇丁目の公園で、●●中学校の制服を着た男子が、数人の生徒にはやし立てられて泣いています。心配なので連絡しました」



小中高生に聞いた 大人にしてほしいこと

- 気持ちよくあいさつするために、まずは大人が見本になってほしい
- 学校以外の生活でもいじめが起こるので、気にかけてほしい

